

昨年6月は、当社の創立30周年の年でした。30周年の記念事業として、新潟県新発田市に食肉センター「しばたパッカーズ」を設立しましたので、節目の式典を新潟市内で行いました。ことし中に食肉処理からパッキングまでを一括して行うブランドが稼働予定で、飼育から流通までを一括して手掛ける第一歩の年になります。

ブランド豚「和豚もちぶた」生産のために44農場で立ち上げた当社。近年は安い輸入豚肉に押されて、経営の苦しい同業者も多いが、養豚だけでなく、加工、流通もできる「6次産業化」を推進することで、今では77の農業法人（84農場）と大幅に仲間が増えました。出荷頭数も年間約52万頭と国内の約3

きむら ゆきお
木村 幸雄氏
グローバルピッグファーム社長



を使っています。全国の農場から毎週報告される生産成績をもとに、コンサルタント役の獣医9人が各農場を巡回して飼育指導しています。このほか、

30年前、養豚場は全国に約10万戸ありましたが、後継者不足や輸入豚肉の進出で、約5千戸にまで落ち込んでいます。大規模、集約化の流れは今後も続

「6次産業化」の第一歩

%を占めるまでになりました。飼育規模が大きくなっても、当社は肉の味を安定させるために、全国統一の飼料と独自で育種改良している種豚

枝肉のカットからスーパーへの納品までを1日で行う「デイワン流通」といったおいしい肉を届けるための配慮は欠かせません。

くとみしていますが、当社は6次産業化を通じて自分たちの豚肉を最後まで責任をもって消費者に届けることで、ブランドを確立したいと思っています。



グローバルピッグファーム株式会社

〒377-0052 渋川市北橋町上箱田800
TEL.0279-52-3753 FAX.0279-52-3579

グローバルピッグファーム

検索

上毛新聞 2014年1月6日掲載